

第5次吹田市地域福祉計画素案及び評価指標案 指摘事項及び検討結果一覧

No.	該当ページ 該当箇所	意見	対応方法
(1) 第5次吹田市地域福祉計画素案の検討について			
1	—	全体的に文章量が多く、地域で計画冊子を使用して勉強会を行う場合に目を通すのが大変に感じる。4次計画と5次計画の違いを記載する等、必要な情報を見つけやすくする工夫が必要。	第3章＞各基本目標＞施策の方向(1)の見出しの下に評価指標を掲載することで、該当ページの文章量を削減する方法で修正。
2	—	本文に出てくる「課題」と「問題」の定義の使い分けが必要。	「課題」は解決に向けて取り組むべきこと、「問題」は社会問題などの現象や状態、障壁のことと定義し修正。
3	—	「はじめに」のページに「地域福祉計画は包括的支援体制の整備をめざして策定している」という旨を記載した方が、読み手に意図が伝わりやすいのではないかと。	当該ページ作成時に内容を検討。
4	—	用語集について、記載する単語に関連する本文のページ数を記載するのはどうか。同時に、本文から用語集にたどり着けるように表現を工夫してほしい。	本文中の用語にアイコンをつけるなど、作成時に表現を検討。
5	—	読み手に取って本文との違いが分かりやすいように、コラムの字体を変えるのはどうか。	コラムの文章が固まった際に表現を検討。
6	3	1行目の「私たちを取り巻く社会問題は少しずつ変化しており」の文章について、AIの普及など、私たちの生活や身近な部分を取り巻く変化は急激なものであるから、「多様化している」「多岐にわたる」等の表現にするのはどうか。	修正。
7	6	社会福祉法の改正に絞って言及した方が流れが伝わりやすいのではないかと。	修正。
8	6	民法改正に伴い、意思決定支援に関して追記が必要。	修正。
9	6	地域共生社会の実現に向けた手段の1つとして地域包括ケアシステムについて言及すると伝わりづらいのではないかと。包括的支援体制や重層的支援体制整備事業に絞って記載するのはどうか。	修正。
10	7	地域共生社会のイメージ図について、国が発出している最新版のものに更新した方がいいのでは。	修正。
11	17	イメージ図「～地域共生社会をめざして～」に「けいけんサポートすいた」を追記すべきではないかと。	修正。
12	20	総合的支援のネットワークイメージ図について、このページ以降に出てこないことも踏まえて包括的支援体制のイメージ図に置き換えた方がいいのではないかと。	修正。
13	21	総合的支援のネットワークイメージ図について、4次計画の2～3ページのように地域団体や相談機関の説明を記載した方が伝わりやすくなるのではないかと。	修正。見開きで示せるようページを調整予定。
14	28	施策体系図の基本目標3＞施策の方向(2)＞具体的施策②地域の安心・安全を支える体制の強化に再犯防止計画を記載してほしい。	修正。
15	33	「生活課題や困りごとの解決・改善を行っています」と記載があるが、解決と記載すると基本目標3に該当するため、支援や情報提供という表現に留めておく方がいいのではないかと。	修正。
16	33	「地域における身近な相談員」に保護司は該当するのかわ。	「ボランティア」に修正。加えて、後に続く文章を「住民が抱える生活課題や困りごとへの相談支援や情報提供を行っている公的な団体」に修正。
17	35	居場所に関する情報発信について、居場所そのものだけでなく、活動内容についても情報を把握したうえで周知してほしい。	対象者ごとに居場所例を記載した表を追加。
18	35	対象者を具体的に記載するのはどうか。居場所がどこにあるかを図で示したらより伝わりやすいと思う。	No.17と同様
19	35	居場所づくりの定義がないので、子ども家庭庁の指針を参考にした方がいいのではないかと。	本施策における居場所の定義を追記。
20	35	「犯罪や非行をした人も地域から孤立させず」の文章について、「孤立に追い込まれないように」「孤立状態に陥らないように」等の表現に修正してほしい。	修正。
21	42	包括連携協定や施設連絡会についての記載内容は、第2章の現状と課題に該当するのではないかと。	第3章の具体的施策には、第2章で記載した状況を踏まえたうえで関連施策や実際の取組例の紹介などを記載している。

第5次吹田市地域福祉計画素案及び評価指標案 指摘事項及び検討結果一覧

22	42	防災に関する協定に基づく取組には、市と民間企業、市と連合自治会の2種類があるため、どちらも記載するのはどうか。	「各分野で高い能力を持つ」と「(市内の企業や団体など)の事業者」を削除
23	48	民法改正に伴い、意思決定支援に配慮することが盛り込まれたため、具体的施策①の施策名を「意思決定を配慮をした福祉サービス等の提供」にするのはどうか。	施策の方向①全体を「吹田市成年後見制度利用促進計画」として位置付けていることから、具体的施策①の施策名については現行の「意思決定支援を重視した成年後見制度等の利用促進」とする。
24	48	施策の方向①が「権利擁護の推進」であるが、成年後見制度のことが記載されており、権利擁護支援＝成年後見制度というイメージで伝わるのではないかと。成年後見制度のことは具体的施策②に記載するのはどうか。	本文は具体的施策①の「意思決定支援を重視した成年後見制度等の利用促進」について記載をしており、冒頭で権利擁護支援に係る事業の1つとして成年後見制度があることが伝わるよう文言を修正。
25	37	具体的施策①に子どもの権利やDVについても記載するのはどうか。	施策の方向(2)＞具体的施策③「人権・福祉等に対する意識の向上に向けた機会の提供」にて記載。
26	51	コラム「身寄りのない高齢者」について、社会福祉法や民法の改正内容に応じて修正が必要。	修正。
27	53	コラム「重層事業の全体イメージ例」について、文章に記載しているイメージ図の番号を1から順に記載した方が伝わりやすいのではないかと。また、受けとめ隊や地域の相談窓口も関係しているのであればあわせて記載する方がよいのではないかと。	受けとめ隊について追記し、番号も修正。
28	57	災害時要援護者名簿や個別避難計画の作成について、福祉防災士に講師を依頼して勉強会を行ったことを記載してほしい。	修正。
(2) 第5次吹田市地域福祉計画における評価指標の検討について			
29	—	評価指標や目標値を設定した理由を記載した方が読み手に伝わりやすいと思う。加えて、実態に即した目標値になるように検討してほしい。	目標値設定依頼時に所管に依頼する。記載方法については検討する。
30	—	成果が数値として見えづらい評価指標もあると思うので、取組がもたらした変化や影響も併せて記載するのはどうか。	「第5次吹田市地域福祉計画」進捗管理シートにおいて実施を検討。
31	—	4次計画との違いや5次計画の特徴を記載したら地域で勉強会を行う際に使いやすい。加えて、過去からの計画を比較した際の一覧表を作成し、分析をすることで変化が見えやすのではないかと。	比較表を作成し、施策や地域の変遷等について分析を行う予定。記載方法については検討する。
32	—	機関や施設の分野やエリアを揃えて比較する等、市の状況が包括的に見えるように評価指標を設定してほしい。	要検討。
33	—	子育て支援センターの相談件数を追加してほしい。	所管と調整のうえ追加を検討。
34	—	地域密着型サービスの整備箇所数(①～⑤)は削除してもいいのではないかと。	基本目標2＞具体的施策②の本文に関連するため、評価指標として設定。
35	—	障がい福祉サービスの利用者数等(①～⑤)は削除してもいいのではないかと。	所管と調整のうえ削除を検討。